

## 7 北海道精神医療審査会

北海道精神医療審査会事務局として、退院等請求にかかる相談、請求の受付、審査会の開催事務及び審査遂行上必要な調査その他当該審査会の審査に関する事務を行っている。

精神医療審査会の事務は、事務の専門性に配慮するとともに審査の客観性、独立性の確保を図るため、法改正により、平成14年4月から精神保健福祉センターが行うこととなった。（令和元年度の審査実績は資料編P45に掲載。）

### (1) 審査会委員

審査会委員は、精神障害者の医療に関し学識経験を有する者、精神障害者の保健又は福祉に関し学識経験を有する者及び法律に関し学識経験を有する者から知事が任命する。北海道では計25名の委員を任命。うち20名で4つの合議体（委員会）を構成し、それぞれの合議体で審査の案件を取り扱う。5名の予備委員は合議体を構成せず、審査の前提となる意見聴取等を行う。

### (2) 審査内容

精神保健福祉法第38条の3及び第38条の5の規定により、知事は次の事項について、審査会に審査を求めなければならないこととされている。

ア 精神科病院の管理者から、措置入院者については入院後3月目に報告を受け、その後は入院から6月毎の報告を受ける。

また、医療保護入院者については入院の届出及び12月毎の報告を受け、それらの報告に基づき入院が必要か否かに関する審査を行う。

イ 入院患者又はその家族等から退院又は処遇の改善のための請求を受けた場合、その入院が必要か否か又はその処遇が適切か否かに関する審査を行う。

表1 令和元年度北海道精神医療審査会開催状況

名 称	回 数	備 考
北海道精神医療審査会全体会議	1回	平成31年4月17日
北海道精神医療審査会（各委員会）	48回	4合議体×12月
北海道精神医療審査会研修会	1回	令和元年12月4日

## 8 自立支援医療費（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

センターは、法第45条第1項の規定による精神障害者保健福祉手帳の申請に対する判定業務及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）第52条第1項の規定による自立支援医療費（精神通院医療）の支給認定に係る判定業務を行うものとする。

### (1) 判定

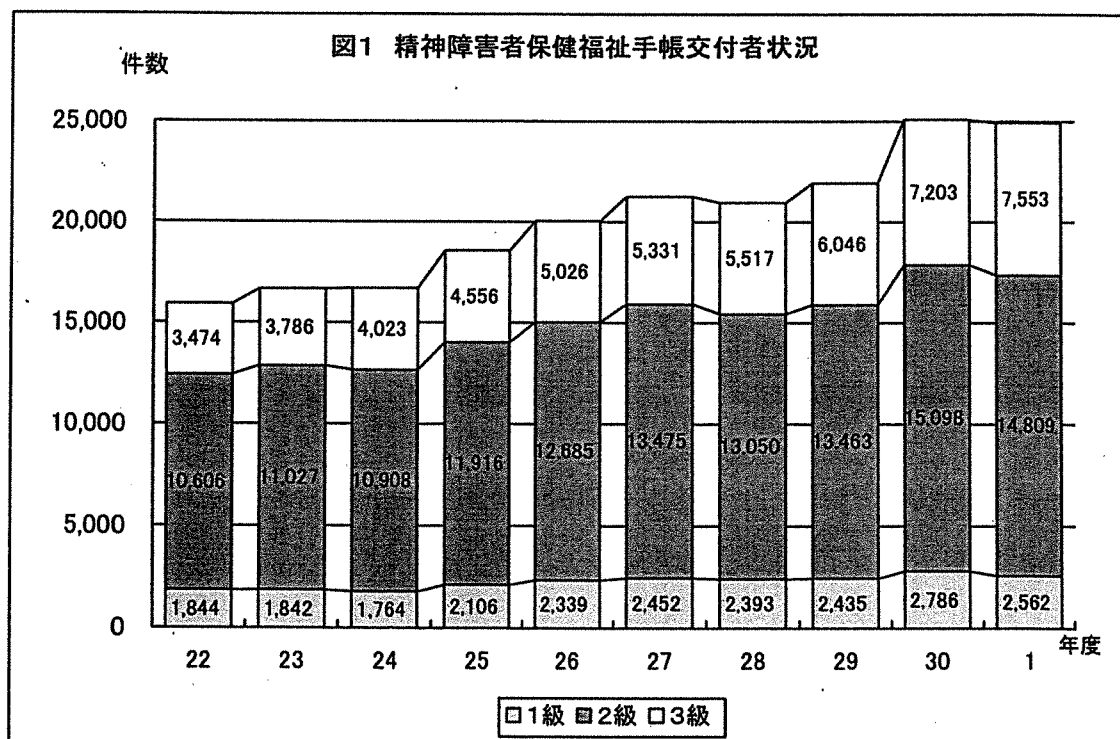
平成14年4月から、「精神障害者通院医療費公費負担」「精神障害者保健福祉手帳」の判定業務については、法改正によりセンターにおいて行うこととなった。平成18年4月には、障害者自立支援法の施行により、通院医療費公費負担制度は同法の自立支援医療費（精神通院医療）制度に移行されたが、センターにおいて引き続き業務を行っている。

原則的に月2回センター内で判定会議を開催し、その結果を、道内各総合振興局（振興局）保健環境部保健行政室・地域保健室（保健所）に通知している。（過去の申請・支給認定及び交付者数に関する実績は資料編P39～40に掲載。）

### ア 精神障害者保健福祉手帳交付状況

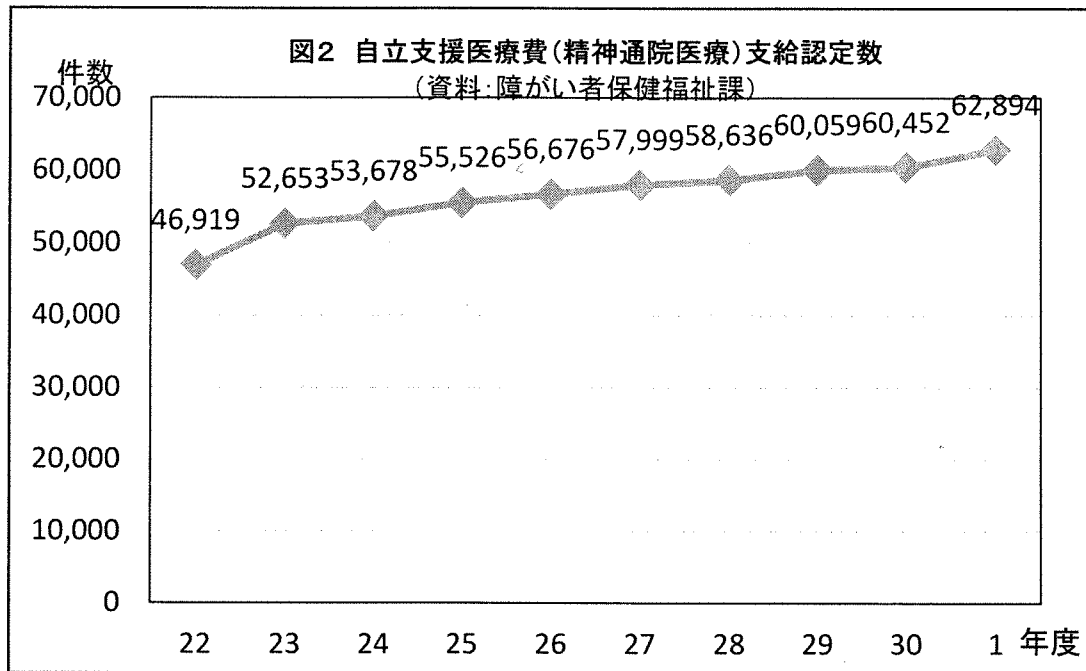
図1は過去10年間の精神障害者保健福祉手帳有効交付者数の推移を示したものである。

全体の交付件数は年々増加しており、この10年間で1.5倍以上の増加となっており、特に3級の交付が2.1倍以上の伸びとなっている。



## イ 自立支援医療費（精神通院医療）について

図2は過去10年間の自立支援医療費（精神通院医療）支給認定数の推移を示したものである。



## 9 学会発表・研究論文等

### (1) 学会・シンポジウム等での発表

	発表テーマ	会の名称	実施日	発表者
1	北海道における自死遺族支援 ～「自死遺族の会全道ネットワーク」 との協働～	令和元年度東北・北海道精神保 健福祉センター研究協議会	令和元年 6月7日	高澤加代子
2	北海道胆振東部地震における災害時精 神保健医療活動	第115回日本精神神経学会学術 総会	令和元年 6月20日	岡崎 大介
3	依存症により非自発的入院となった症 例の変遷 ～過去5年間の検証～	令和元年度全国精神保健福祉 センター研究協議会	令和元年 10月22日	石山沙奈恵
4	薬物問題を持つ人の家族を対象にした ワンデイ・セミナーの試み —家族・当事者・関係者と展開した5年 の振り返り—	令和元年度全国精神保健福祉 センター研究協議会	令和元年 10月22日	木村 睦

5	北海道胆振東部地震における子どもの こころのケア	北海道児童青年精神保健学会 第35回研修会	令和元年 10月26日	岡崎 大介
---	-----------------------------	--------------------------	----------------	-------

(2) 論文・寄稿

年月	題 名	執 筆 者	掲 載 誌 名	発 行
令和元年 12月	北海道胆振東部地震における災害時精神保 健医療活動	岡崎 大介	日本精神科病院協 会 雑 誌 ( vol. 38 No. 12)	日 本 精 神 科 病 院 協 会

## Ⅲ 重点事業

### 《 自殺対策 》

北海道では平成10年に自殺者が急増して以来、毎年約1,500人前後が自ら命を絶っている状況が続いていた。近年は減少傾向だが、今なお年間1,000人あまりの方々が自ら尊い命を絶つという深刻な事態が続いている。

自殺に至る背景には「健康問題」や「経済・生活問題」等、様々な問題が複雑に関係していることが多く、自殺対策は社会全体で取り組まなくてはならない喫緊の課題となっている。

当センターでは、総合的に自殺対策を進めるために本庁主管課及び保健所等と連携し、種々の事業を実施している。

これらの事業の詳細については「Ⅱ 業務概要」に既に記載したところであるが、当センターが重点事業として令和元年度に取り組んだ自殺対策を、次に取りまとめ再掲する。

#### 1 普及啓発

道民などに対し、自殺予防に関する普及啓発について協力した。

名 称	種類	普及先	日時
自殺予防対策関連パネルの利用	パネル掲示	JR 北海道	令和元年5月

#### 2 情報提供

北海道地域自殺対策推進センターを設置し、自殺の実態や各地域の状況などの関連情報を提供及び普及啓発をした。

開設日	開設場所	内 容	詳細
平成28年4月1日	当センター内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ等を活用した自殺予防関連情報の収集・発信</li> <li>・こころの健康に関する相談機関情報の提供</li> <li>・メールマガジンによる自殺予防関連情報の発信</li> </ul>	P3

#### 3 技術指導・技術援助

保健所を中心とした自殺対策への取り組みに対する技術支援及び関係機関への講師派遣を行った。

##### (1) 保健所に対する技術指導・技術援助

保健所	月日	事業内容(区分)	参加者数	センター従事者	詳細
岩 内	8/30	○岩内地域自殺対策連絡会議 企画に対する助言及び会議出席	57	地域支援部長(医師) 地域支援部主任技師(医師)	P9
	10/7	○ゲートキーパー研修企画担当者向け研修 企画に対する助言及び研修会出席	24	地域支援部主査(保健師) 地域支援部理療専門員(作業療法士)	
網 走	2/3・4	○市町村支援評価打ち合わせ	2	保健福祉推進部長(医師)	P9
	2/3	○大空町管理職員対象メンタルヘルス研修会	31	地域支援部副部長(保健師) 地域支援部主査(保健師)	P9

- (2) 関係機関に対する技術指導・技術援助（コンサルテーションを除く）（P10 参照）  
主に、自殺関連研修会の講師として職員の派遣を行った。

(3) コンサルテーション

区分	支援先	件数	内容	詳細
地域	道立保健所	0件		P10
来所	道立保健所	1件	事例助言	P10
電話・メール等	道立保健所	38件	事例助言、事業助言、情報提供	P11
	市町村	4件	事例助言、事業助言、情報提供	
	関係機関	7件	事例助言、情報提供	

(4) 北海道自殺総合対策モデル事業（P11～12 参照）

取組	日数	回数	延従事者数
企画検討会議	2	2	9
研修会、講演会	8	9	34
課題ヒアリング、打合せ	4	6	27
ほか	2	2	4

従事者には障がい者保健福祉課、中標津保健所職員、札幌大を含む

4 人材育成

自殺対策に関わる関係者を対象とした教育研修並びにかかりつけ医のうつ病対応力向上のための研修等を実施した。

研修名	日時	場所	対象	内容	詳細
行政課題研修 「自殺対策研修」	1月17日(金)	かでの 2・7	道立機関又は札幌市を除く市町村等の行政職員	・講義、事例学習等	P13
・「かかりつけ医等うつ病対応力向上研修」 ・「うつ病対応力向上研修」	・7月27日(土) ・9月3日(火)	WEST 19 釧路市生涯学習センター	地域医療に携わる医師 ・産業医	・講義、演習 ※共催：北海道、札幌市、道医師会	P14
こころの電話相談員勉強会	4月～12月 5回	精神保健福祉センター	電話相談員	・講義、事例検討等	P22

## 5 相談支援

・相談（自殺関連）

(件)

区分	来所相談	電話相談						合計	詳細
		テレビ 電話	電子 メール	こころの電話		その他 電話	小計		
				こころの 電話	業務 委託分				
自殺関連	6	0	7	62	24	48	141	181	P20
自死遺族	4	0	0	5	1	31	37	75	P20

・自死遺族支援

名 称	対 象	開 催 状 況			詳細
		開 催 日	回 数	参加者数	
自死遺族のための 交流会	家族を自死で 亡くされた方	第1火曜日 13:30~15:30	11回	実14延75	P27
	子どもを自死で 亡くされた方	第3火曜日 13:30~15:30	4回	実6延16	

・自死遺族グループの活動支援

名称	対象	開催日	開催場所	参加者数	詳細
自死遺族の会全道ネ ットワーク会議	道内7カ所の自死遺族の会の 代表者による会議	R1. 6. 1	かでの2・7	8名	P27
		R1. 11. 30	かでの2・7	10名	
全道自死遺族交流会 ① 講演会 ② 当事者交流会	① 一般道民、自死遺族、自殺対 策業務に従事する関係者 ② 自死遺族、自死遺族の支援者	R1. 10. 12	北海道新聞 帯広支社 道新ホール (帯広市)	① 59名 ② 27名	P27

## 《 災害対策 》

近年、全国各地で、地震や台風、大雨等の大規模な自然災害が深刻な被害をもたらしている。北海道では、平成30年9月6日に胆振東部地震が発生し、厚真町・むかわ町・安平町(以下「被災3町」)を中心に、甚大な被害をもたらした。また、全道的には大規模なブラックアウトを経験し、道民全体に災害に対する意識の高まりをみせた。

大規模災害後は、環境や生活の変化や時間の経過と共に、人々の心身の状態や意識も変化し、それに併せて支援の仕方も変化する。

胆振東部地震の復旧・復興活動は、令和元年度も引き続き進められ、当センターは、主に被災3町支援者支援の枠組みで災害後こころのケアに取り組んでいる。

また当センターでは、平時から北海道の災害対策を推進するため、本庁主管課及び保健所等と連携し、災害時の体制整備、人材育成、普及啓発等の事業を実施している。

当センターが重点事業として令和元年度に取り組んだ災害対策を、次に取りまとめる。

### 1 普及啓発

全道および被災3町に対し、災害に関する啓発資料等の作成や健康教育を実施し、普及啓発を行った。

名 称	種 類	普及先	日時	人数
災害時こころのケアの手引きの作成	基本的知識や対応の手引き書、啓発リーフレット集	全道	R2.3月 作成	
被災3町職員健康教育の実施	健康講話、ワークショップ	厚真町職員	R1.9.10、9.12	97
		むかわ町職員	R1.10.3、10.11	67
		安平町職員	R1.8.8	91

### 2 情報提供

被災3町職員に対し、健康教育や職員面談の場において、災害後に起こり得るストレス関連障がいやアルコール健康障害、リラクゼーション等に関する情報を、面談や講話、啓発リーフレットの配布・掲示等によって情報提供した。

### 3 技術指導・技術援助

保健所及び被災3町を中心とした災害対策への取り組みに対する技術支援、及び関係機関への講師派遣を行った。

#### (1) 保健所に対する技術指導・技術援助（被災3町支援者支援に係る技術支援を除く）

今年度、災害対策に係る保健所に対する技術支援・技術指導はなかった。

#### (2) 関係機関に対する技術指導・技術援助（コンサルテーションを除く）（P10参照）

学会や研修会、消防学校における災害時メンタルヘルスに係る講義や道の災害対策に係る報告の講師として派遣を行った。

#### (3) コンサルテーション

区 分	支 援 先	件 数	内 容	詳細
地域		0件		
来所		0件		



電話・メール等	道立保健所	1件	情報提供	P23
	市町村	3件	事業助言、情報提供、その他	
	関係機関	0件		

#### (4) 被災3町支援者支援に係る技術指導・技術支援

・保健所に対する技術指導・技術支援

保健所	月日	事業内容(区分)	参加者数	センター従事者	詳細
苫小牧	R1.11.15	東胆振東部3町自殺対策計画策定に係る検討会	25	所長 地域支援部長 地域支援部副部長	P7

・その他

支援先	件数	内容	詳細
苫小牧保健所	1件	事業打ち合わせ、事例、事業助言、情報提供等	P7
厚真町	11件		P7
むかわ町	5件		P7
安平町	12件		P7

#### 4 人材育成

災害対策に関わる関係者を対象とした教育研修を実施した。

研修名	日時	場所	対象	内容	詳細
相談援助技術研修「トラウマケア研修」(災害時こころのケア研修)	R1.8.5(火)	かでの2・7(札幌)	保健所(札幌市を除く)、市町村、	講義・実践報告・グループワーク等	P13

#### 5 相談支援

・相談(災害関連)

(件)

区分	来所相談	電話相談						合計	詳細
		テレビ電話	電子メール	こころの電話		その他電話	小計		
				こころの電話	業務委託分				
災害関連	0	0	0	0	0	1	1	1	P23

・胆振東部地震に係る相談

遺族支援として、電話相談や関係機関連絡を実施した。

・被災3町支援者支援

名称	対象	開催状況			備考	詳細
		開催日	回数	実施者数(延件数)		
職員面談	厚真町職員	R1.5.10、6.4、6.10、6.28、7.18、9.12、10.4、10.18、12.10、R2.3.9	10	53		P7

職員面談	むかわ町職員	R元. 6. 10、8. 2、8. 9、 10. 4、10. 11	5	31	全町職員スク リーニングを 実施	
	安平町職員	R元. 6. 17、6. 18、7. 1、7. 2 7. 4、7. 5、7. 8、7. 12、 7. 16、11. 11、11. 19、 11. 26、12. 5、12. 6	14	173		
リラクゼ ーション	厚真町職員	R元. 9. 10、9. 12、R2. 3. 9	3	7	健康教育時、 職員面談時に 実施	P7
	むかわ町職員	R元. 8. 2、8. 9	2	20	健康教育時に 実施	
	安平町職員	R元. 6. 17、6. 18、7. 1、7. 2 、7. 4、7. 5、7. 8、7. 12、7 . 16、11. 11、11. 19、11. 26 、12. 5、12. 6	14	90	職員面談時に 実施	

## 6 体制整備

災害時の迅速かつ適切な対応を実行するため、センター内に災害等支援委員会を設置し、センターの体制整備や、災害対応マニュアル（アクションカード含む）の作成を行った。

### ・災害等支援委員会

	日時	場所	参集	内容	詳細
第1回	R1. 10. 30	センター会議室	センター職員 (災害対策委員)	北海道 DPAT 研修会、委員会の運営・ 進行 等	P6
第2回	R1. 11. 27			胆振東部地震の振り返り、委員会の 今後の方向性 等	P6
第3回	R1. 12. 25			胆振東部地震の振り返り（本庁）と 課題 等	P6
第4回	R2. 1. 29			業務継続計画の修正（案）および災 害時対策マニュアル（案） 等	P6
第5回	R2. 2. 26			災害時対応マニュアル（案）、アクシ ョンカード 等	P6
第6回	R2. 3. 25			災害時対応マニュアル（案）、アクシ ョンカード、委員会設置要綱 等	P6

## 7 調査研究

災害時こころのケアについて、学会・雑誌等で発表した。

学会・雑誌名	日時	場所	発表・著者	内容	詳細
第115回日本精神神経学会 学術総会	R1. 6. 20	新潟市 朱鷺メッセ	岡崎 大介	北海道胆振東部地震に おける災害時精神保健 活動	P31
日本精神科病院協会雑誌 第38巻 第12号	R1. 12. 5 発行		岡崎 大介	北海道胆振東部地震に おける災害時精神保健 医療活動	P32

## 資料編

### 資料 1 北海道の精神障害者（数）の年次推移

表 1 在院患者数・措置入院患者数の年次推移

(厚生労働省 精神保健福祉資料 6 月末現在)

年	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
在院患者数	19,131	18,980	18,606	18,452	18,321	17,972	16,763	—	16,672	17,039

※札幌市を含む。H28年6月末現在については未公表

年	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
措置入院患者数	—	52	50	55	45	50	35	—	36	36

※札幌市を含む。H21年6月末現在については未公表。

表 2 精神障害者把握数

(資料：北海道保健所把握精神障害者状況12月末現在、平成27年度より3月31日現在)

年	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
把握数	130,381	136,073	125,993	127,863	136,382	143,344	144,430	155,351	157,679	165,022	167,208

※札幌市を含む。 ※R1年度は未公表。

表 3 病類別精神障害者把握数の年次推移

(資料：北海道保健所把握精神障害者状況12月末現在、平成27年度より3月31日現在)

年	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
統合失調症	40,484	41,821	39,869	39,401	40,748	41,491	41,040	41,412	41,611	42,341	27,239
そううつ病	43,951	48,315	46,391	47,543	51,414	54,209	54,540	58,949	58,981	61,502	35,147
脳器質性精神障害(痴呆性)	5,691	6,113	6,050	10,842	11,803	13,374	13,964	15,635	17,109	18,786	13,875
心因性精神障害	10,172	8,453	7,158	7,455	8,307	8,583	8,803	9,562	9,833	10,629	7,186
中毒性精神障害	5,583	5,142	4,589	4,639	4,589	4,829	4,628	4,842	4,855	4,995	3,343
(うちアルコール)	4,682	4,266	3,743	3,752	3,636	3,747	3,548	3,710	3,745	3,844	2,644

※ 国際疾病分類ICD-10に基づくものとした。上から順に、統合失調症 (F2)、気分[感情]障害 (F3)、器質性精神障害(認知症) (F00, 01)、神経症性障害 (F4)、精神作用物質による精神及び行動の障害 (F1)、うちアルコール (F10)

※H29年までは札幌市を含む。 ※R1年度は未公表。

表 4 自立支援医療費（精神通院医療）申請・支給認定件数

(資料：障がい者保健福祉課)

年度	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1
申請	43,016	47,152	52,755	53,724	55,602	56,886	58,190	58,717	60,299	60,728	62,037
支給認定	42,656	46,919	52,653	53,678	55,526	56,676	57,999	58,636	60,059	60,452	62,894

※札幌市を除く。

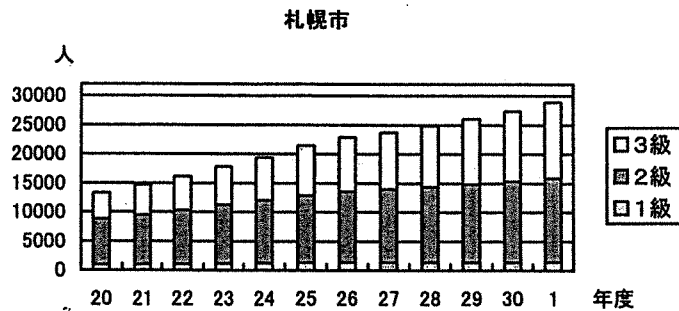
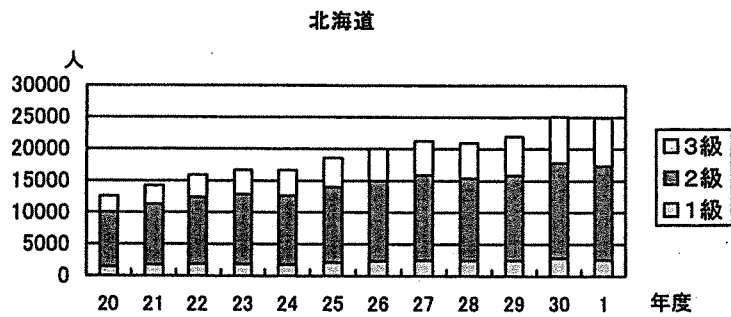
表5 精神障害者保健福祉手帳交付者数

(年度末有効交付者数)

年度	北海道				札幌市				合計	全国計
	1級	2級	3級	計	1級	2級	3級	計		
16	1,389	6,605	1,471	9,465	666	5,165	2,170	8,001	17,466	335,064
17	1,458	7,321	1,899	10,678	711	5,800	2,698	9,209	19,887	382,499
18	1,606	7,768	2,309	11,683	716	6,242	3,000	9,958	21,641	404,883
19	1,597	8,296	2,371	12,264	856	7,224	3,927	12,007	24,271	442,728
20	1,452	8,598	2,533	12,583	942	7,921	4,469	13,332	25,915	482,905
21	1,739	9,524	2,976	14,239	990	8,543	5,135	14,668	28,907	544,332
22	1,844	10,606	3,474	15,924	1,053	9,301	5,772	16,126	32,050	594,504
23	1,842	11,027	3,786	16,655	1,149	10,130	6,569	17,848	34,503	605,514
24	1,764	10,908	4,023	16,695	1,240	10,820	7,345	19,405	36,100	695,699
25	2,106	11,916	4,559	18,581	1,331	11,615	8,473	21,419	40,000	751,150
26	2,339	12,685	5,026	20,050	1,390	12,228	9,266	22,884	42,934	803,653
27	2,452	13,475	5,331	21,258	1,399	12,652	9,664	23,715	44,973	863,649
28	2,393	13,050	5,517	20,960	1,365	13,079	10,344	24,788	45,748	921,022
29	2,435	13,463	6,046	21,944	1,362	13,500	11,164	26,026	47,970	—
30	2,786	15,098	7,203	25,087	1,397	13,981	11,960	27,338	52,425	—
1	2,562	14,809	7,553	24,924	1,460	14,484	12,951	28,895	53,819	—

※H29年度以降の全国計については未公表。

図1 精神障害者保健福祉手帳交付者数の推移



※参考資料（平成18年度以降は集計されていませんがご参照ください）

表6 人口1万人対在院患者数の推移

（厚生労働省精神保健福祉課調6月末現在 12年度は10月末現在）

年	H9	10	11	12	13	14	15	16	17
在院患者数 【全道】	35.9	36.2	36.6	36.4	34.2	33.9	35.4	34.3	35.4
在院患者数 【全国】	26.8	26.6	26.4	26.3	26.1	26.0	25.8	25.6	25.4

※全道計は札幌市を含む。

※H18以降は集計されていない。

表7 病名別在院患者数

（6月末現在）

疾患名	14	15	16	17	18
統合失調症	6,586	6,467	6,359	6,367	6,101
そううつ病	1,028	1,123	1,078	1,117	1,141
器質性精神障害（総数）	2,875	2,931	2,862	3,030	3,028
アルツハイマー病	528	722	760	892	981
脳血管性痴呆	1,303	1,279	1,151	1,127	1,204
その他の器質性精神障害	1,044	930	951	1,011	843
中毒性精神障害（総数）	945	922	884	900	865
アルコール中毒	886	878	834	850	816
覚せい剤中毒	22	12	19	24	17
その他の中毒性精神障害	37	32	31	26	32
その他の精神病	56	69	46	41	46
神経症	455	347	354	320	326
人格障害	70	67	48	56	44
知的障害	434	423	401	389	405
てんかん	383	387	348	348	363
その他	232	364	407	395	369
合 計	13,064	13,100	12,787	12,963	12,688

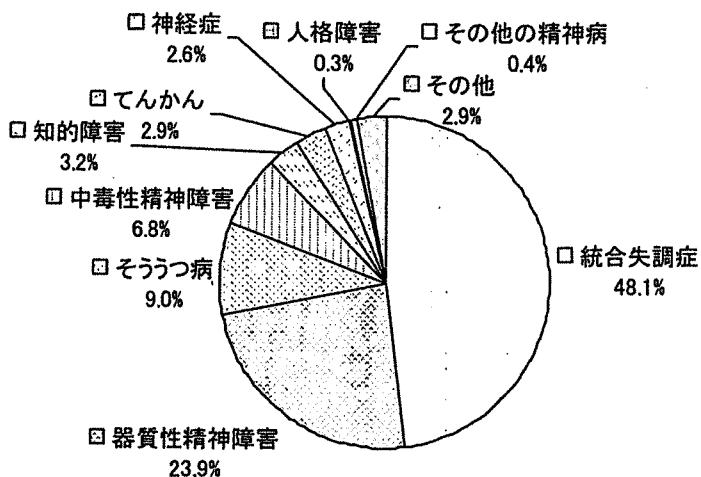
※札幌市を除く。

※H19以降は集計されていない。

図2 病類別在院患者状況(平成18年6月末現在)

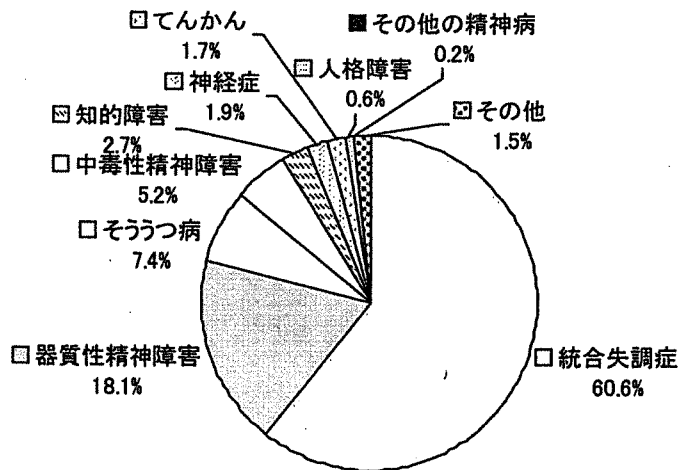
道内在院患者(札幌市を除く)

12,688人



全国在院患者(平成16年6月末現在)

326,125人



資料2 保健所管内別受療状況

※ R1年度は未公表

単位：人 平成31年3月31日現在

地域別	保健所名	受療内訳								合計
		入院				通院				
		措置入院	医療保険入院	その他の入院	小計	自立支援医療	その他の通院	小計	その他	
全	道 総 計	59	7,368	5,136	12,543	106,940	11,709	120,649	34,016	167,208
道	茨 城 県	0	276	293	569	1,330	215	1,545	1,207	3,321
	江 越 県	0	54	53	112	308	88	396	445	953
	八 雲 県	0	37	39	126	958	31	989	323	1,443
	西 館 市	0	284	29	313	5,531	642	6,173	181	6,667
	小 計	0	701	419	1,120	8,127	976	9,103	2,161	12,584
北	江 別 市	5	258	366	629	5,532	206	5,738	2,290	8,657
	千 歳 市	2	116	522	640	3,555	55	3,610	311	4,561
	札 幌 市	6	2,657	2	2,665	45,114	4,400	49,514	10,524	62,703
	中 央 区	0	307	0	307	4,961	436	5,397	697	6,601
	北 区	1	457	0	458	6,464	440	6,904	703	8,065
	東 区	1	289	0	290	6,378	424	6,802	1,121	8,213
	白 石 区	2	376	0	378	5,677	426	6,103	1,176	7,657
	厚 別 区	0	97	0	97	2,992	172	3,164	310	3,571
	豊 平 区	0	281	0	281	5,153	334	5,487	574	6,342
	清 田 区	0	196	0	196	2,058	168	2,226	663	3,085
	南 区	0	225	0	225	2,925	308	3,233	889	4,347
	西 区	1	206	0	207	5,288	1,567	6,855	1,840	8,902
	手 形 区	1	223	2	226	3,218	125	3,343	2,351	5,920
	保 知 支 店	1	389	297	687	1,401	268	1,669	1,564	3,920
	岩 手 市	1	70	56	127	325	27	352	469	948
	小 岩 市	6	121	0	127	2,358	0	2,358	197	2,682
	滝 見 市	2	214	453	669	3,261	189	3,450	1,095	5,214
	滝 川 市	2	512	437	951	1,493	164	1,657	1,453	4,061
	深 川 市	1	19	36	56	485	21	506	187	749
室 宮 市	0	434	545	979	3,958	550	4,508	445	5,932	
古 小 牧 市	1	222	383	606	3,845	89	3,934	1,138	5,678	
清 河 市	0	17	30	47	432	93	526	552	1,124	
静 岡 市	0	154	67	221	598	171	769	915	1,905	
	小 計	27	5,183	3,194	8,404	72,357	6,233	78,590	21,140	108,134
北	上 川 市	1	94	17	112	973	75	1,048	639	1,799
	旭 川 市	6	363	0	369	8,133	94	8,227	830	9,426
	名 寄 市	2	51	108	161	1,290	339	1,629	576	2,366
	富 良 野 市	0	41	88	129	604	65	669	808	1,606
	留 萌 市	0	131	50	181	857	52	909	292	1,382
	稚 内 市	0	243	121	364	1,071	269	1,340	1,024	2,728
	小 計	9	923	384	1,316	12,928	894	13,822	4,169	19,307
オホツク	北 見 市	0	88	134	222	2,835	717	3,552	1,768	5,542
	網 走 市	0	25	66	91	1,054	371	1,425	67	1,583
	紋 別 市	1	105	53	159	953	85	1,038	90	1,287
	小 計	1	218	253	472	4,842	1,173	6,015	1,925	8,412
十勝	寺 広 市	1	191	505	697	6,359	1,772	8,131	2,343	11,171
	小 計	1	191	505	697	6,359	1,772	8,131	2,343	11,171
釧路・根室	釧 路 市	0	79	326	405	3,501	627	4,128	1,437	6,020
	根 室 市	1	13	27	41	365	4	369	319	729
	中 標 津 市	0	60	28	88	461	30	491	472	1,051
	小 計	1	152	381	534	4,327	661	4,988	2,278	7,800

資料3 保健所別精神病床普及状況

(令和2年3月31日現在)

保健所等名	人 口 (住民基本台帳R2.3.31現在)	精神病院(室)		
		施設数	病床数	人口万対普及率
総数	5,242,300	118	19,706	37.6
江別	196,377	4	491	25.0
千歳	225,632	4	781	34.6
岩見沢	154,318	6	774	50.2
滝川	100,790	7	1,225	121.5
深川	30,194	2	429	142.1
上川	52,710	1	120	22.8
富良野	40,411	1	170	42.1
名寄	61,216	1	55	9.0
岩内	20,382	0	0	0.0
倶安	69,282	3	365	52.7
江差	21,860	1	48	22.0
渡島	111,871	2	460	41.1
八雲	34,133	1	100	29.3
室蘭	177,919	7	1,544	86.8
苫牧	206,996	3	734	35.5
浦河	20,760	0	0	0.0
静内	44,137	1	218	49.4
帯広	335,146	4	467	13.9
釧路	225,455	5	522	23.2
根室	25,163	2	215	85.4
中標津	48,182	0	0	0.0
網走	61,810	1	105	17.0
北見	147,143	4	350	23.8
紋別	66,328	1	135	20.4
稚内	61,985	1	70	11.3
留萌	44,124	1	99	22.4
計	2,584,324	63	9,477	36.7
札幌市	1,958,280	37	7,044	36.0
小樽市	113,733	5	933	82.0
市立函館	253,378	5	1,314	51.9
旭川	332,585	8	938	28.2
計	2,657,976	55	10,229	38.5

資料：精神病院月報

札幌市	1,958,280	37	7,044	36.0
北海道	3,284,020	81	12,662	38.6



資料4 保健所における精神保健相談・訪問指導

表1 平成30年度精神保健相談の状況

(資料：平成30年度厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」第25表)

	実人員	総数	延人員							
			老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	その他
北海道	3,627	9,644	418	2,180	540	120	170	259	2,176	3,781
保健所設置市(再掲)										
札幌市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旭川市	157	309	7	6	21	5	19	6	99	146
函館市	796	931	7	539	11	1	4	0	55	314
小樽市	70	88	8	11	12	1	1	5	1	49

※1 札幌市、上川保健所を除く。

表2 平成30年度訪問指導の状況

(資料：平成30年度厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」第26表)

	実人員	総数	延人員							
			老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	その他
北海道	1,607	3,705	229	1,102	274	50	13	46	454	1,537
保健所設置市(再掲)										
札幌市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旭川市	57	152	0	1	18	6	0	0	8	119
函館市	271	351	15	161	13	0	0	0	17	145
小樽市	61	102	12	3	8	0	0	1	0	78

※1 札幌市、上川保健所を除く。

資料5 北海道精神医療審査会の審査状況

令和元年度の審査状況

(定期の報告等)

	審査件数	審査結果			審査中
		現在の入院形態が適当	他の入院形態への移行が適当	入院継続不要	
医療保護入院者の入院届	4,673	4,636	0	0	37
医療保護入院者の定期病状報告書	1,861	1,848	0	0	13
措置入院者の定期病状報告書	35	35	0	0	0
計	6,569	6,519	0	0	50

(退院等の請求)

	審査件数	審査結果				審査中
		入院又は処遇は適当	入院形態変更	入院又は処遇は不適当	取下・退院	
退院の請求	51	37	1	2	10	1
処遇改善の請求	35	27	0	1	6	1
計	86	64	1	3	16	3

※1 札幌市を除く。

資料6 人材育成の内容（プログラム等）

※ 敬称略

1 保健福祉推進部

日程・会場	内 容
<p>・「かかりつけ医等うつ病対応力向上研修 令和元年7月27日(土) WEST19 5階講堂 受講者 147名</p>	<p>講 義Ⅰ「うつ病の理解と対応～診断と治療～」 講 師：特定医療法人社団慶愛会 札幌花園病院 院 長 松原良次</p> <p>講 義Ⅱ「ギャンブル依存とうつ、自殺」 講 師：北星学園大学社会福祉学部 教 授 田辺 等</p> <p>演 習：「うつ症例への接し方」 講 師：札幌市精神保健福祉センター 所 長 鎌田隼輔 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 医療参事 廣島 孝 北海道立精神保健福祉センター 所 長 岡崎大介 〃 保健福祉推進部長 東端萌李 〃 主任技師 松木 亮</p>
<p>・「うつ病対応力向上 研修」 令和元年9月3日(火) 釧路市生涯学習 センター 受講者 21名</p>	<p>講 義 「明日から役立つ基礎知識 ～うつ病の診断と初期対応～」 講 師：市立釧路総合病院 精神神経科部長 佐々木史</p> <p>演 習 「うつ症例への接し方」 講 師：北海道立精神保健福祉センター 所 長 岡崎大介 〃 地域支援部長 三宅高文</p>

## 2 地域支援部

### (1) 行政課題研修

日程・会場	内 容
<p>① 「精神保健福祉基礎研修」</p> <p>令和元年6月24日(月) ～25日(火)</p> <p>かでの2. 7(札幌)</p> <p>受講者54名</p>	<p>[1日目]</p> <p>講義1「精神保健福祉施策のあゆみとこれから」 講 師：北海道立精神保健福祉センター 所長 岡崎 大介</p> <p>講義2「精神障がい者の権利と生活を支える支援」 講 師：特定非営利活動法人リカバリー 理事長 大嶋 栄子</p> <p>講義3「精神障がい者の地域生活支援」 講 師：室蘭市相談支援センターらん センター長 北条 智幸 ピアサポーター2名</p> <p>グループワーク1「講義をきいて考えたこと、学んだこと」 助言者：北海道立精神保健福祉センター 所長 岡崎 大介</p> <p>[2日目]</p> <p>講義4「精神疾患に関する基礎知識」「事例」 講 師：北海道立精神保健福祉センター 地域支援部長 三宅 高文</p> <p>講義5「精神保健相談の基本」 講 師：北海道立精神保健福祉センター 保健福祉推進部長 東端 萌李</p> <p>事例学習「事例を通し相談対応のあり方を考える」 助言者：北海道立精神保健福祉センター 保健福祉推進部長 東端 萌李 地域支援部長 三宅 高文</p>
<p>② 「自殺対策研修」</p> <p>令和2年1月17日(金)</p> <p>かでの2. 7(札幌)</p> <p>受講者53名</p>	<p>講義1「身近に自死を経験したときに求められる支援～自死遺族を中心に」 講 師：北海道立精神保健福祉センター 所長 岡崎 大介</p> <p>情報提供1「ポストベンション支援で情報提供した媒体紹介」 報告者：北海道立精神保健福祉センター地域支援部 副部長 玉井 綾子</p> <p>報告「自死遺族グループの実際」</p> <p>(1)「北海道立精神保健福祉センターの取組～自死遺族のための交流会と全道ネットワーク会議」 報告者：北海道立精神保健福祉センター相談研究部 木村 睦</p> <p>(2)「網走市の取組～自死遺族のための「分かち合いの会With」について」 報告者：網走市健康福祉部健康推進課 保健師 萩田 和弥</p> <p>当事者メッセージ</p> <p>グループワーク</p> <p>情報提供2「自死遺族支援のための学習媒体について」 報告者：北海道立精神保健福祉センター 地域支援部 主査 松野 由紀子</p> <p>まとめ</p>

(2) 相談援助技術研修

日程・会場	内 容
<p>① 「依存症研修」</p> <p>令和元年10月31日(木) ～11月1日(金)</p> <p>かでの2・7(札幌)</p> <p>受講者42名</p>	<p>[1日目]</p> <p>講義1「依存症の基本的理解」 講 師：医療法人資生会 千歳病院 院長 芦澤 健</p> <p>講義2「ネット社会と依存」 講 師：医療法人溪仁会手稲溪仁会病院精神保健科 部長 白坂 友彦</p> <p>行政説明「地域依存症支援体制の推進」 説明者：北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 精神保健グループ 主査(相談支援) 森下 恵子</p> <p>実践報告1「依存症の相談支援と地域連携」 (1)指定依存症治療拠点機関の役割と取組 報告者：医療法人北仁会旭山病院 院長 山家 研司</p> <p>(2)精神保健福祉センターの取り組み 北海道立精神保健福祉センター相談研究部 副部長 加藤 真司</p> <p>グループトーク「地域の依存症者支援における困りごと」 テーマ「あなたが思う、依存症者支援で『不安なこと・難しいこと』は？」</p> <p>[2日目]</p> <p>講義3「依存症者への相談支援」 講 師：北海道立精神保健福祉センター 地域支援部長 三宅 高文</p> <p>講義4「アルコール健康障害の早期介入と減酒支援」 講 師：北海道立精神保健福祉センター 地域支援部 主査 松野 由紀子</p> <p>実践報告2「依存症の家族・グループの支援～稚内保健所の取組」 報告者：稚内保健所健康推進課 保健師 寺岡 綾香</p> <p>当事者・家族メッセージ「依存と回復の体験から伝えたいこと」 報告者：当事者・家族(アルコール依存症、ギャンブル依存症、薬物依存症)</p> <p>事例学習「高齢期に向かう独居の依存症事例の支援」 助言者：北海道立精神保健福祉センター 所長 岡崎 大介 地域支援部長 三宅 高文</p> <p>グループトーク「地域の依存症者支援の充実に向けて」 テーマ「『不安なこと・難しいこと』に対する変化は？地域の依存症支援で取り組めそうなことは？」</p>
<p>② 「トラウマケア研修」</p> <p>令和元年8月5日(月)</p> <p>かでの2・7(札幌)</p> <p>受講者64名</p>	<p>行政説明「北海道DPATの体制整備」 説明者：北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 精神保健グループ 主査(相談支援) 森下 恵子</p> <p>実践報告「胆振東部地震災害後のこころのケア活動」 報告者：厚真町民福祉課健康推進グループ 主査 笹森 あゆみ 苫小牧保健所健康推進課 主任保健師 富山 愛香 北海道立精神保健福祉センター 地域支援部 副部長 玉井 綾子</p> <p>助言者：宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター 副センター長 福地 成</p>

	<p>講義1「災害復興回復期のこころのケア活動の実践から」  講 師：宮城県気仙沼保健福祉事務所（気仙沼保健所）  技術副参事兼技術次長（総括担当）佐藤 純子</p> <p>講義2「災害とこころのケア活動～被災後1年を迎えるにあたって」  講 師：宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター  副センター長 福地 成</p> <p>グループワーク「災害時こころのケア活動の理解と体制づくり」  助言者：宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター  副センター長 福地 成</p> <p>宮城県気仙沼保健福祉事務所（気仙沼保健所）  技術副参事兼技術次長（総括担当）佐藤 純子</p>
--	---

(3) トピック研修

日 程 ・ 会 場	内 容
<p>「トピック研修」  令和元年12月3日(火)  かでの2・7(札幌)  受講者8名</p>	<p>講義1「成人の発達障害の理解と支援」  講 師：北海道立精神保健福祉センター 地域支援部長 三宅 高文</p> <p>事例検討  助言者：北海道立精神保健福祉センター 地域支援部長 三宅 高文  保健福祉推進部長 東端 萌李</p>

(4) 地域精神保健福祉担当者研修

日程・会場	内 容
<p>令和2年2月20日(木) かでの2・7(札幌) 受講者21名</p>	<p>実践報告1「管内地域の自殺対策の推進に向けた市町村支援」 報告者：岩内保健所健康推進課 主査(健康支援) 近藤 望</p> <p>実践報告2「災害時こころのケア活動の準備～PFA研修地域開催から」 報告者：室蘭保健所健康推進課 主任保健師 梅津 武蔵</p> <p>実践報告3「精神障がい者の支援～危機介入支援と地域包括ケアシステム」 報告者：岩見沢保健所健康推進課 健康支援係長 佐藤 一美</p> <p>グループワーク1「地域精神保健福祉支援システムづくり～各地域の実践を知ろう」 助言者：北海道立精神保健福祉センター 所長 岡崎 大介 地域支援部長 三宅 高文</p> <p>実践報告4「自殺総合対策モデル事業の実践から学ぶ～別海町での展開から」 報告者：北海道立精神保健福祉センター 地域支援部 副部長 玉井 綾子 中標津保健所健康推進課 主任保健師 和田 妃都美</p> <p>講義「北海道の自殺対策の推進～自殺対策推進計画と地域づくり」 講 師：北海道立精神保健福祉センター 所長 岡崎 大介</p> <p>グループワーク2「地域精神保健福祉支援システムづくり～自殺対策を中心に」 助言者：北海道立精神保健福祉センター 所長 岡崎 大介 地域支援部長 三宅 高文</p> <p>業務説明 北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課精神保健グループ 主査(保健) 吉澤 淳也 主査(相談支援) 森下 恵子</p> <p>業務説明 北海道立精神保健福祉センター 相談研究部 指導主任保健師 舘巖 晶子</p> <p>北海道立精神保健福祉センター 地域支援部 副部長 玉井 綾子 地域支援部 主査 松野 由紀子</p>

資料7 職員研修

日 時	テ ー マ
R1. 6. 20 15:00～16:00	公務員倫理とコンプライアンスについて
R1. 7. 18 15:00～16:00	「交通安全。絶対ダメ!飲酒しない!させない! 許さない!」
R1. 9. 20 15:00～16:00	【研修受講報告】 依存症研修(ブリーフ・インターベンション&HAPPYプログラム研修)
R1. 10. 10 13:00～14:00	全国センター長会予行演習(10/21. 10/22 高知市)
R1. 11. 15 15:00～16:00	【研修受講報告】 薬物依存臨床医研修(9/3～9/6 小平市)
R1. 12. 18 13:00～14:00	【研修受講報告】 ・災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)養成研修(8/27 札幌市) ・情報セキュリティ対策及びソフトウェア資産管理について
R2. 1. 24 15:00～16:00	【研修受講報告】 ギャンブル生涯の基礎知識とSAT-Gを用いた支援について (12/6 大阪市)
R2. 2. 21 15:00～16:00	【研修受講報告】 摂食障害治療研修(9/17～9/20 小平市)